



5周年記念式典での、表彰式の様子。皆勤賞の作業所利用者の下柿元照美さん。平成28年3月から通っていますが、初めから1日も休まず来ているのはただ一人です。

デイサービスの皆さんには、感謝状をお渡ししました。その後のスライドショーでは、5年間のあゆみをみんなで振り返りました。この5年でみんなが少しずつ年を取って……いえ、成長してきたことを確認しました。



【発行】 一般社団法人栄福社会
【住所】〒190-0003 立川市栄町 3-2

【ホームページ】sakaefukushi.jp

【事業内容】

〈障害者総合支援法〉

キッチンさかえ(就労継続支援B型)

ソレイユ(就労移行支援)

営業時間 8:00~17:00(土日祝休)

TEL042-540-1033

FAX042-540-1035

〈介護保険法〉

サポーターズさかえ(地域密着型通所介護)

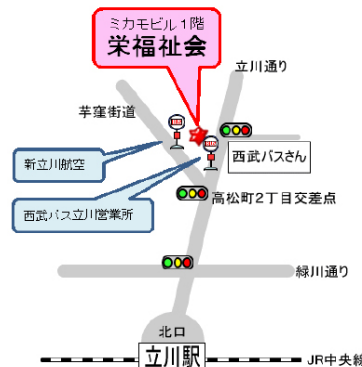
営業時間 8:00~17:00(日休)

TEL042-540-1034

FAX042-540-1035

【駐車場完備】

車いす利用の方のお車も駐車できます



有料広告スペース
相続対策相談会のご案内

上級生涯設計デザイナーの
小谷貴美恵が解説します！

認知症・介護・相続対策
お考えの方、ぜひご連絡を。

TEL 090-9303-5236

会場 キッチンさかえ

さかふく通信

一般社団法人栄福社会
5周年記念特別号

2017.05

第2弾!



栄福社会 5周年記念式典にて、参加者による集合記念写真

平成29年4月3日(月)、一般社団法人栄福社会5周年記念式典が開催されました。

来賓の、当法人アドバイザーである若山浩一氏からお言葉をいただいた後、表彰式がありました。5年間在職の職員2名へ永年勤続表彰、作業所利用者の下柿元照美さんへ皆勤賞、デイサービス利用者の全員に感謝状が贈られました。

そして、5年間のあゆみを、今まで撮ってきた写真の数々をスライドにして振り返りました。何もないと不安だらけのスタートでしたが、大変だったあれこれも、いま思えば楽しくなつかしい出来事です。

この5年間のたくさんの経験と皆様との出会いを大切に、また、ここから一歩ずつ進んでいければと思います。

支えてくださった方々に心から感謝します。これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

栄福社会 5周年記念に寄せて

開所以来 5周年おめでとう御座います。

私は開所以前の準備段階から、お手伝いさせて頂いています。今から振り返ると、現在は格段の進歩をしていると感じています。

一番目には、来所されている方々の満足が得られるよう、非常に努力されるようになって来ている事。

二番目には、当初はキッチンさかえとサポーターズさかえを中心とした体制が、現在は、両者を含めた栄福社会全体としての体制並びに責任体制がしっかりと根付いてきた事。これに伴い設備の充実、財務体質の改善が計られ、全体としての総務、情報管理、5S等について討議、管理がなされるように改善が成されてきた。

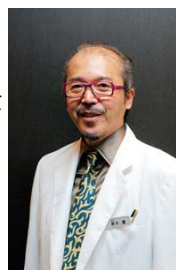
三番目には、P・D・C・Aのサイクルがしっかりと回る。計画を立て・計画を実行・それをチェック・不都合があれば修正し行動する。このサイクルがきちんと回るようになってきた(企業にとっては大切な事)。これは月一回栄福社会[部会会議]で報告され実行されている。私も参加させていただいている。

これからは、更なる大胆な飛躍を期待したい。

(福祉研究企画 代表取締役社長 若山浩一)

誰しもが個として人間であり尊厳を持って健常者と対等に扱われなくてはなりません。しかし、障害者の活躍の場は狭く、介護の名の元で差別を受けています。栄福社会の活動は高い熱意に満ち、行政に先んじて地域での身障者活躍の場を提供しています。まさに先見の明、時流の寵児といえます。これから立川市を核に新しい町作りを始め全国へ伝搬する。そんな夢の実現のために頑張ってくださいと思います。5周年、本当におめでとう御座います。

(医療法人社団新緑会 理事長 鈴木慶)



5周年おめでとうございます。いつもおいしいカレーをありがとう。たまにはさんきゅうカフェにも遊びにおいでください。これからもいっしょに地域を楽しくしていきましょう。(特定非営利活動法人 さんきゅうハウス副理事長 吉村一正)



5周年おめでとうございます。

早いもので、5年前ですが、みなさんと近くの公園に花見に行った事、思い出します。私も付き添いで、何年かお世話になりました。おろおろする私でした。今はとても感謝しています。これからも力を合わせみなさんのため頑張ってください。(西東京住宅リフォーム 金井勝信)

一般社団法人栄福社会のみなさま、5周年おめでとうございます。

「キッチンさかえ」「ソレイユ」が開所されたことで、高次脳機能障害の方だけでなく、これまでお仕事をあきらめていた身体障害の方も「働くこと」「次のステップを目指す」ことができるようになりました。

今後も立川で活動する仲間としてお付き合いができることを心強く思っています。さらなるご発展を心よりお祈りしています。

(特定非営利活動法人 自立生活センター・立川 理事長 奥山葉月)

人間には変えられない運命があり、思いもよらないことが沢山ある。運命を受け入れることも幸せの必要条件。栄での皆と食べる昼飯に幸せを感じる日常生活。散歩やお出掛けの買物、外食、見学。仲間と囲む麻雀ゲーム。楽しむこと。幸せは凡庸の中にある。

(サポーターズさかえ利用者 上野智博)

「迷惑かけて」はもうやめよう

キッチンさかえのイベントで遠足や外出訓練や珈琲専門店の見学等に行った後、参加した利用者はこの「さかふく通信」へ報告や感想を書いてもらうと、その中に「スタッフに迷惑かけて行って来た」という文面がいつも散見された。軽重の違いはあれ障害を抱えている我々利用者はその人に応じた手助けを得なければイベントに参加できなかったら。だからその手助けを殊勝に「迷惑かけて」と書いたり言ったりするのだが、我々がその時間をいきいきと有意義に過ごせば、手助けしてくれるスタッフもけして「迷惑」などと思ったりはしないだろう。手助けに対しては気持ちを込めて大いなる感謝を述べればよいのだ。「人に迷惑かけて」などという意識が働くとしても行動を控えようと思ったり自ら身を縮こませ自分の行動範囲を狭めるようなことになりかねない。だから「迷惑かけて」などという気遣いはもうやめて手助けは手助けとしてありがたく受け積極的に何にでも参加しいきいきと行動しようではありませんか。

(キッチンさかえ利用者 桐山登)

5周年おめでとうございます。

私が栄福社に入って、時期は2013年頃から15年11月位までお世話になりました。いま私は都庁チャレンジで事務補助員として頑張っています。初めは通勤で苦労しましたが今では慣れました。栄福社ではどんなに失敗してもやり直せるチャンスがあるのだと教わりました。本当に一歩踏み出すことが必要だと思います。皆様もチャンスを活かしてください。

(東京都教育委員会オフィスアシスタント 澤津隆)

開設5周年おめでとうございます。開設当初より利用者としてお世話になりました。ここで接客のノウハウを教わり、店内レイアウトを皆で考え作り上げていった事を思い出します。障害を理解してもらえる安心感があり、自分に合った仕事をステップアップする中で、自信が付き前向きに就労を考えられ、現在は一般企業に就職でき、自分の世界が広がり生活の中に励みがありました。栄福社はいつでも気軽に立ち寄りた場所です。

(キッチンさかえ卒業生 橋本静)

5周年を迎えて思うことは、食事がどんどん美味しくなっていることだ。味も良いし、見た目もきれい。メニューも盛りだくさんで、いつも昼食を楽しみにしている。

この食事が、レストランの売上高向上にも大きく貢献していると思う。シェフの手綱さんにこの場を借りて感謝の気持ちを表したい。

これからも地域の人たちに美味しさを伝え、ぜひ多くの人に味わっていただきたいと思う。

(キッチンさかえ利用者 檜原徹)



栄福社の皆様5周年おめでとうございます。

いつも美味しいお弁当を配達していただきありがとうございます。

地域で唯一の高次脳機能障害の方への専門的支援を実施される事業所として、また、障害者支援事業と高齢者支援事業とが支え合って運営する、こ

れからの社会モデルのような皆様のご活動に注目しております。

これからもよろしくお願ひ申し上げます。

(いろりん所長 木村憲介)

栄福社5周年、おめでとうございます。

利用者の皆さんが活動する様子を拝見していると、高次脳機能障害がある方にとっての生活の再建は、オリジナルな活路を絶えず創り続けることだと感じます。私も活用できる資源、協力者をこれからも一緒に探したいと思います。栄福社が、専門性の強みを生かし、高齢者にも障害者にも、心が動き出す発信基地となりますように、ますますのご発展を祈念いたします。

(発足時の準備メンバー 早川郁子)

設立5周年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。高齢者や障がいを持たれた方が自分らしい生き方の出来る施設として活動を重ね、また就労支援を通じて、社会復帰を果たされている方がいることを伺い、心より敬意を表します。高齢化が進展し、またノーマライゼーションが求められる社会において、貴会がさらにご活躍なさることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます

(東京都議会議員 酒井大史)



一般社団法人栄福社が5周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。私ども立川市社会福祉協議会が運営されている立川市役所1階の喫茶店「Café はぁもにい♪」で「キッチンさかえ」様で製造している「Go うどん」の販売を行っています。この「Go うどん」は腰が強く、とても美味しいうどん毎月ご購入される方がいる程です。これからも美味しいうどんを提供して下さるようお願いいたします。(社会福祉法人立川市社会福祉協議会 在宅支援事業課 障害福祉係長 岡部俊一)

一般社団法人栄福社設立5周年、誠におめでとうございます。私が勤めていた会社を定年退職した後ボランティアとしてお邪魔するようになって4年近くたちますが、その間で一番嬉しかったことは、私と一緒にパソコンの訓練を頑張った障害のある方々が就職されたことです。

最近4年前と比べ職業訓練の職員やボランティアの方々が充実して



きましたので、私は専ら介護が必要な私より先輩の方々と健康マージャンを楽しんだり、「さかふく通信」を配布したりしております。最近「キッチンさかえ」の売り上げ伸びていると聞き「さかふく通信」の配布も売り上げ増に多少貢献している面もあるかなと自己満足している今日この頃です。

(ボランティア 長沼大夫)

一般社団法人栄福社会の5周年を心よりお慶び申し上げます。障がいを持たれた方々に働く喜びを提供されると共に、「地域生活の場」として、バザーやお祭りなど、地域との関わりを日々積極的に進めていた



だしていることに、深く敬意と感謝を表する次第です。私も、ポスターのテープ貼り等で栄福社会の皆様には大変お世話になっております。これからも地域の笑顔の引き出し役として、栄福社会がご発展されますことを願っております。
(衆議院議員 長島昭久)

腰を痛めつづけ、医者から仕事のストップを言われた。仕事を止めて、今後何をしたいのかわからない時、何かボランティアを始めてみようかと思い、僕も一応ヘルパー2級とガイドヘルパーを持っていることから、福祉のボランティアをやって見る事にしましたが、しかし最初は不安でした。経験が無いのに果たして務まるのか？心配しましたが栄福社会の職員の方々が皆良い方で色々教えていただき、又、利用者さんの方々とふれ合っていくうちに徐々に心配が消え、今では楽しく参加させていただいています。今後とも利用者の方々と積極的かつ親切にふれ合いながら、よろこんでもらえる様にボランティアを続けていきたいと思えます。



今年5周年記念ということで、僕も5年間ボランティアを続けて次の10周年記念に参加したいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(ボランティア 峯一俊)

5周年記念おめでとうございます。私は2012年5月に市役所の紹介をいただいて栄福社会へ行きました。職員の方々がいつからきてくれるのといってください、何もわからないこの私をあたたく迎えて下さいました。それからは日々通い、あったかいご飯をいただき、また、遠足にも参加させていただきました。通常は仕事でパソコンの練習や食器洗浄の仕事、レストランの入金やシメ作業、面接に必要な勉強、そしてそれから面接の勉強をするようになってから1年数カ月たった2015年、面接をいくつかあたり、現在の会社に入社できました。そして、現在そこで働いています。それも栄福社会の職員の皆様全力をつくして下さいました。感謝しています。
(キッチンさかえ卒業生 竹下和男)

理想のデイサービス

中途障害者が懸命に頑張っている姿を感じながら、私はぬり絵、お隣の方は入浴タイムそして厨房手作りの昼食、午後からは麻雀、お昼寝をする人、お散歩する人、それぞれの皆さんがサポートを受けながらのごやかな時を過ごしています。私の老後もこんなだといいなあ……。なんと言っても昼食が楽しみなのは私だけ？朝からいい空気の流れをかんじられる「さかえ」です。
(東京都ボランティア指導員 澤津よう子)

この度は、栄福社会様の創立5周年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。私共の訪問看護ステーションも、平成27年10月よりサポートさかえ様に微力ながら関わらせていただき幸甚に存じます。御会が「地域生活の場」として、一層のご発展とご活躍されますことを、お祈り致し、お祝いの言葉とさせていただきます。

(訪問看護・リハあんねい 所長 三浦昭子)

5周年おめでとうございます。栄福社会創立5周年、誠におめでとうございます。栄福社会さんは日頃より地域団体との交流・親交が深く、「地域に根差した活動」が実を結んだ結果だと感じております。スタッフの素敵な笑顔、美味しそうなコーヒーの香り…地域福祉コーディネーターも、「地域の癒しのスポット」として、いつも励まされてきました。これからも地域でのいろいろな活動にご一緒できればと思っております。栄福社会のこれからのますますの発展・ご活躍を心より祈念いたします。(立川市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター 柳澤実)



栄福社会創設5周年おめでとうございます。“地域生活の場”を提供するために、様々な思いが集まり、形作られてこられたのだと思います。住み慣れたまちで暮らすことができないなんて寂しいですね。最近ではスマホを見ながら歩く人が多くなりました。ぜひその視線を少しだけ人に向けていただけたら…「ああ今日も散歩しているな、ちゃんと買い物にきているな」日々の生活の中で、たくさんの人に気にかけてもらえる。そんなまちづくりをわかば包括もお手伝いさせていただきます。

(立川市北部東わかば地域包括支援センター センター長 菅根浩子)